

# 磐城中正新報

發行日 毎月一日、十五日  
 定 額 一 部 金 拾 錢  
 郵 税 共 一 回 八 十 錢  
 廣 告 料 一 回 八 十 錢  
 同 二 十 錢 増  
 發 行 所 福 島 縣 平 町 磐 城 跡 四  
 安 澤 榮 作  
 印 刷 所 同 上  
 編 者 同 上  
 發 行 人 同 上

## 發刊の辭

夫れ正邪曲直の嚴正なる批判は之れ自ら社會の木鐸を以て任する新聞紙たるの使命なるは何人も信じて疑はざる所である。本紙は此所に幾多先輩多紙の存立する眞唯中その主義主張を眞向に振り翳し混濁したる政界に不振に沈む業界に將又沈滞したる財界に教育に宗教に頹廢しつつある思想界に一味の清涼劑を注するも又新聞紙の使命である本紙は常に道義建國の理想の上に正義正論を主張し毅然として百般世相上に一大警鐘を乱打し正邪曲直を嚴正に批判せんとするものである。

故に本紙は官權に眉びず權門に阿らず斬人斬馬の意氣と力を以て勇往邁進の信條である。

大方の諸賢士本紙か即ち起つて刊行するに至つた所以亦茲に存するを諒せられ深甚なる御後援と御指導とを賜はらん事を

一言以て發刊の辭とす

磐城中正新報社

## 俳句

小川郷 吉岡獨歩

祝いひ事續く日頃や菊薫る  
 城富士振放け見れば秋晴る  
 山の秋たけなほ爛はびや檀紅葉  
 空に妙技を競ふ火花哉  
 札の松茸並らぶ市の秋  
 酒酌みて鼓腹の民の閑話せり  
 謝乞ふや權の門に小巡禮  
 業はとまれ守成の案山子か那  
 刊創報新正中城磐祝



小照は木田喜平太翁

翁は天保十三年五月四日日本郡夏井村に生る壯年時代より故白井道平翁と共に炭礦事業に従事、常磐炭礦界の恩人として知らる當に公共の念厚く教育及社會事業の爲めに盡瘁し賞状及感謝状を有する三十有四年、大正四年五月四日生葬式を営みしは今尙世人の記憶する所である御大典には八十七歳の高齡を以て賜杯の恩命に浴する名譽の長壽者である

## 祝 創 刊

### 衆議院議員

木村清治  
 比佐昌平  
 (イロハ順)

### 縣會議員

若松美三  
 野崎滿藏  
 古川傳一  
 鷲清昇  
 鈴木辰三郎  
 (イロハ順)

平銀行頭取  
 山崎與三郎  
 磐越銀行頭取  
 中野甲藏  
 小名濱水産工業株式會社社長

植田水力電氣株式會社社長  
 小野晋平  
 金成通

植田物産株式會社

山崎登

磐城立憲新報社長

小泉宗雄

飯野村長

伊藤淺之助

内郷村長

野木亀之助

泉村長

中村立躬

赤井村長

根木忠松

小名濱町長

鈴木榮

川部村長

兒玉萬平

川前村長

佐藤三郎

赤井消防組頭

松本金治

植田消防組頭

坂本龜太郎

好間消防組頭

叶多清

湯本消防組頭

井坂千代松

### 小名濱築港費

#### 大藏省の査定通過

愈々明年度から實現か  
工費二百八十八萬圓も豫定通り

本縣唯一の大事業たる小名濱築港費は過般閣議と大藏省の査定を無事通過し豫定通り六ヶ年繼續總額三百八十八萬圓の内四年度は六十三萬圓支出される事に決し愈々實現可能となつた問題に寢食を忘れて盡力した小野晋平氏は語る

### 易學上に顯れた

#### 第三黨と民政黨

平古鍛冶町 青山 而 象

時漸く政治期節に入り朝野兩黨互に頭數の増加に専念し手段方法を撰ばざるは沙汰の限りである、第一黨より第三、四黨までも出来んとす當今各黨の運命を斯界の大家青山先生の易占を左に紹介す

### 神谷村長問題

#### 容易に纏らざる

本郡神谷村では村長、長壽ると言ふ事を良く聞くが簡彈され辭表を提出したのが後

近來不景氣挽回策の第一歩は金の解禁も其の一つであるが金の輸出取締を説明するに及ばず

### 金の解禁に就て

我が國では去る大正六年九月十二日大藏省令第二十八號で金貨幣又は金地金輸出取締法と云ふものが公布され金貨幣又は金地金を輸出せんとするものは大藏大臣の許可を受けるに依りては勿論外國に旅行するものでも金貨百圓以上を携帯する者は總て許可を受くること、若し此れに反する時は三ヶ月の懲役又は百圓以下の罰金に處せられる事になつてゐる

### 祝

### 創

### 刊

不動澤炭礦業所  
高階 一郎  
菊地 傳一  
内郷村 白水

杉山炭礦業所  
杉山 今朝  
内郷村 吉

消花炭礦業所  
佐藤 留藏  
内郷村

坂田炭礦業所  
坂田 順治  
内郷村

古市 喜三郎  
赤井 村

佐藤 傳之助  
大勝 貞治

良確 品實 廉敏 賣捷 勝は 商の 略命 かなり  
店約特社會トシメセ城磐  
店商屋釜  
番九三一 番九話電 目丁五平新磐

醬味鯉 油噌節  
酒罐食 類詰品  
元造釀  
社會名合崎山  
番七二 場工 番〇一 部業 營話電 町平

石城郡内郷村金坂  
松山忠治郎

磐城平二丁目川  
小松崎本店

磐城平町南町  
北野

平町仲町一六  
小松崎支店

### 鑛業税の地方委讓を

#### 炭礦所在地町村長が運動

#### 財源難の緩和策

本が右から左と動いて金に代らない中にいろ／＼な故障が出来て来るを以て二回三回と溜ると版元へ返本も出来ず中には申込金を貰は

平町會議員一同  
代表者 柏原眞吾

平町南町  
高橋彌太郎

蒲鉾製造  
折詰類仕出し  
藤市  
平二丁目(電話三〇五番)

養蠶家の副業として

クヅ繭の加工講習

四十銭のものが五圓になる

石城郡に於ける一ヶ年間の他の防寒具に作り上げる...

鑄造界の白眉

非凡なる技術の所有者

工藤源吉氏

本邦鑄造界の權威として非の邪念を去りて一意専心...

祝 刊 創

玉川村 村長 永井億彌 助役 鈴木平九郎 収入役 小泉一良 外吏員一同

海老原洗濯店 磐城平町播磨小路

スガノヤ提灯店 各種提灯商 御大典奉祝提灯 電話七二二番

東部電力株式會社 平營業所 所長 武田精一

佐原酒造店 銘酒... 醸造元 鹿島村

松崎松太 村會議員 赤井村

方圓堂高山 平町二丁目 諸印刷彫刻 附屬品一式 都甲正三

湯本町 大井川虎次

入山第四坑 宗形徳次郎

内郷村綴 渡邊幾一

石城郡平町白銀町 河田鐵工場 場主 河田梅吉 電話三二九、七六二 電略(カ)又ハ(カ)

植田町 馬上守一 郵便局長

植田町 渡邊徳之助 質商

平町新田町 滑川敏之輔 公周旋業 電話七〇三番

湯本町 先崎集恵 公周旋業 電話呼出四五番

冬衣新荷着

御大典模様、小紋錦沙三銘仙 御婚禮祝着一式 各種豊富に取揃申候

三井吳服店 電話長 三十八番 七百五十一番 振替口座仙台三八九四番

良品の普及に國境なし 各家庭に是非 必要各種 体温計 中風靈藥 一週間分 九〇〇錢 二週間分 一、七〇〇錢 三週間分 二、五〇〇錢 難治とせる中風諸症に又 動脈硬化症に偉効あり

淋病消渴の新藥 トリツクス 壹圓、貳圓、參圓 腎臟病特效劑 大瓶 貳圓、貳圓 不思議の靈藥 養命酒 小瓶 一、五〇〇 大瓶 二、〇〇〇 以上は好評噴々たる特效劑であります 平町五丁目角

特約店 山野邊藥局 藥劑師 山野邊 東次郎 (健康保險藥局)

◎藥學衛生上の御相談は是非弊店へ

旭日昇天の勢を示し

常に同業者に羨望せらるる

富國徴兵保險相互會社

富國徴兵保險相互會社は關東第一位に上り相互會社の特  
東大震災のあつた大正十二色を遺憾なく發揮し信用益  
平十一月二十二日の開業以來は前途洋々たる優良會  
來今日まで六ヶ年殊に創業社である、同社の社長根津  
當時は大震災の餘波で財界嘉一郎氏は人も知る如く殖  
は極度に消沈し世人の多く産業界の恩人にして現に  
は同社の前途を危ぶみもし東京商業會議所特別議員外  
同社の發起人及基金醸出者數十會社の重役を兼ねてゐ  
は我國財界知名の人々である徳望高き人、同社伊豆專  
あると顧問には斯界の泰斗務は保險界稀に見る人格者  
栗津博士並に陸海軍將官の且つ斯業には特別の趣味  
歴々たる人々で何れも徴兵を有する優秀敏腕の好紳士  
保險本來の目的たる兵役に其の他同社の重役連は何れ  
服する者を獎勵して義勇奉も一流の人物揃へ地方代理  
公の精神を鼓吹し且つ入營店主も各地の有力者を網羅  
者をして後顧の憂なく其義してゐるは同社にとつて一  
務を全うせしめ併せて勤儉段の強味である、尙同社平  
貯蓄の美風を涵養するを目標務取扱所主任長瀬富彌氏  
標に日夜寢食を忘れて盡瘁は同社創立と同時に事務取  
した結果創業の際發表した扱所を引受け地方契約者の  
五ヶ年一億圓完成の聲明爲め種々の便宜を謀り共存  
に對し一顧も與へざりし所其榮の實を擧げ社的事業  
謂ふ人筋の觀測は無慘にものため盡力を惜まざる模範  
裏切られた同社は其後一層的好代理店主である、且つ  
奮勵努力、益々事業の發展同氏は當地方稀に見る人格  
に全力を注ぎ現在では一億圓を具備した紳士にして  
五千萬圓の契約を計上する信用厚き平町有数の米穀商  
に至り、資産状態其他に於て店主である

請負界の重鎮で

信用益厚き

浦井保君

君は明治廿五年十一月廿五新進人物として錚々の名お  
日生で恰度三十七歳の働まり以前は家兄の許にありて  
盛り磐城炭礦の組長で其の業に従事してゐたが大  
人ありと知られたる浦井保正十二年家兄と分離獨立し  
春氏の令弟にして請負界の主として磐城炭礦の燃料運

搬及機械据付等の請負を業的に温情を以つて接して居  
とす。資性温順にして信用を奉る事を書きするものである  
厚く部下より慈父の如く慕合間テヨ女との間に三男一  
はれ氏の爲めならば水火を女あり君未だ不惑に達せず  
辭せざる部下を有するは君斯界の爲め益々奮闘あらん  
が平素部下に對し殆ど家族事を望む

祝創刊

東京池貝鐵工所 特約代理店  
東京日本鐵工所

中之作鐵工場

主 吉田正雄

江名町 九、四、一 番

小名濱町

木田熊太郎

町會議員

大平千秋

植田町

町會議員

小野務平

小名濱町

江名町長

河野嘉藏

祝創刊

小名濱町大敷綱

郡司一郎

小名濱町

小名濱事業所

東洋捕鯨會社 場主 大野真宏

小名濱町

吉田屋

御料理館 電話十四番

湯本町

内山吉五郎

鈴木自動車部

植田町

鳥由

御料理仕出し 電話四三番

内郷村

山崎藤瀨

齊木彌三郎

湯本町

籠倉醫院

湯本町

石川八郎

職業紹介業

湯本驛前

高岡自動車部

電話五十七番

泉村

佐藤醫院

小兒科

勿來町會議員

森重次郎

久保田醫院

内外科小兒科 產科、婦人科 小名濱町 (電話二七番)

小名濱町

山内時計店

各種時計指輪 眼鏡、蓄音器

神谷村

佐藤久三郎

なかや洋服店

冬合服は 平町二丁目 (電話二〇三番)

萬屋二商店

内外問屋 果實 平町四丁目 電話二七三番

### 鑛業税の地方委譲を

#### 炭礦所在地町村長が運動 財源難の緩和策

縣下各町村では明年度豫算長に徹を飛し猛烈なる運動編成期の近づくに伴い何を爲すに決し本月一日野木も財源難に苦み就中炭礦氏は常磐地方の町村長を代表しての町村長一層甚しく表して筑豊炭田方面の町村此れが對策に就き關係町村長と共に上京政友民政兩本長は寄々協議中の所此の難部及政府當局に鑛業税地方關切の策は多年の要望た委譲法案を是非來議會に提鑛業税の地方委譲により案され度旨陳情したが果之れを緩和すべく本郡内郷して提案されるか否か注目村長野木龍之助氏が中心とされてゐるなり全國炭礦所在地の町村

### 平町で菊花大會

#### 前年以上の大仕掛で 斯界の粹を集蒐して

千秋會平支會では昨年公會京濱地方より専門の菊師を堂跡の廣場で菊花の陳列會招き菊人形を作り一般の觀を催し非常の賞賛を博し覽に供する目論見で同人形たが本年は御大禮奉祝の爲は楠公父子櫻井譯の決別及め同所に於て十一月五日よび天の岩戸其の他教育的のり二十日まで十五日間大々の數種の等で此れが費用的に大會を開催する事に決約三千圓を投じ關東北にはし既に準備に着手中である會つて類例のない大會故開が大輪は懸崖約六百鉢の多量の曉は定めし非常なる賞數に上るべく本月中旬から讀を博するであらう

### 圓本の受難

#### 小賣店大弱の巻

昨年から本年にかけ圓本は約者に惱まされてゐる版元殆ど全盛期であつたが倍の取次を付する小賣店が何近頃は版元も小賣店も大弱故困るのだらうとよく調べりである、圓本發行元の苦て見ると町内の懇意な人が手は途中解約者の續出で之類み放しをやつたり學生がれには何處の出版屋も閉口解約もしないで、其の儘にしてゐる、處が近頃は小賣放つてしまつたり、種々の店の方も御多聞に洩れず解事、で版元から送つて來た

石城郡内郷村金坂

磐城平二丁目川

小松崎本店

電話七七〇番

北野

大勝

貞治

類詰品社

々の憶測を逞ふするもの多辭曰六二、係小子失丈夫々であつた。併し天下に名傳曰係小子弗兼與也。聲を博し一方の大將株たる斷曰隨は剛者の柔者に從ふ

ものにわらず。其行爲は潔貴婦人あり餘りに油斷した政府の氣運は金城鐵壁如何白なるも公を捨て私を取り結果自己の首飾を失ひ夜なる強梗の敵も噬み碎き大たるものと言はざるを得ず會は勿論外出すら出來すに勝を得るの象あり次號に。

## 祝 創 刊

平町 大河原金之助	湯本町 湯本信用無盡株式會社	植田町 磐城無盡商會	植田町 植田藝妓家組合	平町 平町西洋料理屋組合	平町 平町三業保健組合	平町 平町料理屋組合	平町 平町藝妓屋組合	平町 平町會議員一同 代表者 柏原眞吾	平町南町 高橋彌太郎	平町南町 松崎喜代吉	平町南町 田邊忠藏商店	平町南町 諸機械商	平町南町 産 猪 狩 力 婆 夕	平町南町 都	平町南町 喜久の家	平町南町 鹽屋本店	平町仲町一六 小松崎支店	平町四丁目 浦鉾製造 折詰類仕出し 藤市 平二丁目(電話三〇五番)	平町四丁目 株式 百澤商店 電話 一二番	平町信用組合 組合長 大谷久藏	平町長橋 銘酒卸小賣 柏木支店 電話 邊 富 三 渡 邊 二 四 三 番	内郷村小島 材木商 佐藤三平 電話 四三〇番	内郷村小島 薄硝子製造所 薄源次郎	内郷村小島 菓子製造 中里商店	内郷村 村會議員 草野助次郎	内郷村 區長 吉田喜與松 區長 大平衆次
--------------	-------------------	---------------	----------------	-----------------	----------------	---------------	---------------	---------------------------	---------------	---------------	----------------	--------------	---------------------	-----------	--------------	--------------	-----------------	---	----------------------------	--------------------	---	------------------------------	-------------------------	--------------------	-------------------	----------------------------

# 祝 創 刊



最高の品質!!  
の御用命  
最低の値段!!

仙 台 台 屋 靴 店  
主 店 廣 部 勸 太 夫  
平 町 播 搦 小 路

川 瀬 炭 礦  
主 川 瀬 幸 治  
赤 井 村

古 河 炭 礦 株 式 會 社  
好 間 鑛 業 所

諸 機 械 並 二 平 町 播 搦 小 路  
チ ナ ル ト 車 輪 業  
武 藏 鐵 工 所  
主 遠 山 稻 吉  
電 五 一 四 番

諸 機 械 建 築  
用 金 具  
渡 邊 鐵 工 所  
平 町 新 川 町

鑛 山 用 諸 器 械  
建 築 金 物  
製 造 販 賣 物  
吉 野 鐵 工 所  
平 町 新 川 町

萬 金 物 商  
坂 田 藤 助  
平 町 二 丁 目  
電 話 一 二 八 番

平 町 旅 館 案 內

住 吉 屋 本 店  
電 一 五 九

住 吉 屋 支 店  
電 一 四 九

扇 屋 旅 館  
電 一 六 五

石 亭 子  
電 三 三 〇

鶴 屋 旅 館  
電 一 二 二

炭 屋 旅 館  
電 一 三 八

八 幡 屋 旅 館  
電 三 〇 八

山 本 屋 旅 館  
電 二 八

土 木 建 築  
請 負 業  
佐 々 木 健 一 郎

土 木 建 築  
請 負 業  
只 野 忠 康

土 木 建 築  
請 負 業  
荒 川 銀 治

土 木 建 築  
請 負 業  
江 口 忠 一

平 町 公 立 學 校 長  
懇 和 會

石 城 郡 第 三 區  
小 學 校 長 會

赤 井 村  
材 木 商  
吉 田 佐 內

平 町 材 木 町  
材 木 商  
櫛 田 榮 太 郎

赤 井 村  
佐 藤 幾 彌

赤 井 村

草 野 三 郎

村 會 議 員

綿 製 造 卸 小 賣  
マ マ ヤ  
野 上 龜 太 郎  
平 町 一 丁 目  
電 話 一 五 二 番

平 町 九 品 寺

遠 藤 心 光

平 町

桐 原 英 純

平 町 一 丁 目

足 袋 仕 立 物 メ リ ャ ス 類  
齊 藤 商 店  
九 屋 號

神 谷 村

村 會 議 員  
松 本 喜 作

平 町 南 町

平 產 婆 學 校  
看 護 婦 野 清 子  
校 長 清 野 清 子

平 町 二 丁 目

鈴 木 常 雄

內 鄉 村 小 島

味 噌 製 造 販 賣  
遠 藤 明 治

內 鄉 村 小 島

白 麴 製 造 販 賣  
遠 藤 米 吉

セ メ ン ト 瓦 工 業 所

代 表 者  
赤 津 島 治  
植 田 町 月 山 下

植 田 町 月 山 下

新 炭 商  
遠 藤 義 一

植 田 町

大 野 牛 乳 店  
大 野 武 春

植 田 町

鈴 木 海

植 田 町

御 旅 料 理 館  
山 田 屋  
本 館 電 話 八 番  
別 館 電 話 一 八 番